

corega FEther CB-TXM インストールガイド

Windows 2000/XP 編

本紙の読み進め方

本紙では、Windows 2000/XP で共通する手順を Windows XP での手順 (画面) で説明し、Windows 2000/XP で手順が異なる場合は Windows 2000 の手順を マークで説明しています。Windows 2000 をご使用の場合は、STEP 1 から まで、 マークの説明にしたがって作業を進めてください。

1 同梱物を確認しよう

* 不足するものがある場合は、弊社サポートセンターにご連絡下さい。

- corega FEther CB-TXM 本体
- メディアケーブル
- ドライバディスク (CD-ROM)
- シリアル番号シール
- 取扱説明書 Windows 2000/XP 編 (本書)
- 取扱説明書 Windows 98/Me 編

2 パソコンの確認をしよう

STEP 1 Windows 2000/XP がパソコン購入時にすでにインストールされていた場合、Windows 2000/XP のバックアップ CD-ROM があるか確認しましょう。もし無い場合は、Windows 2000/XP のマニュアル等を参照して、バックアップをフロッピーディスク等に必ずとりましょう。バックアップ方法に関しては、PC メーカーにご確認ください。

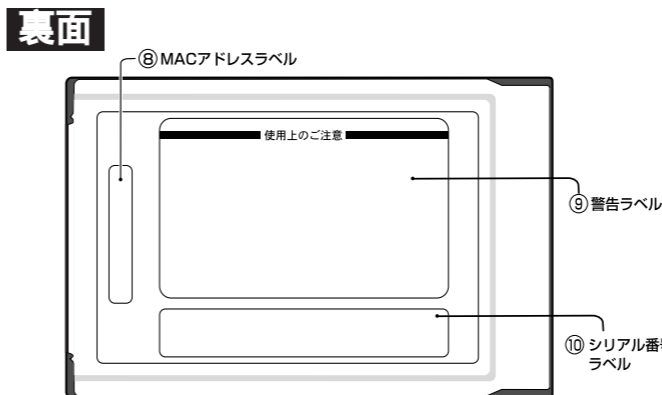
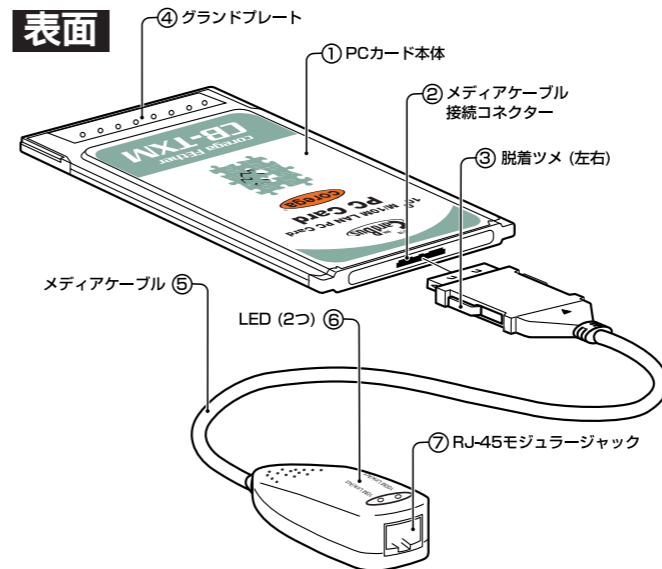
STEP 2

「スタート」 「マイコンピュータ」を選択します。ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブを確認し、ドライブ名をメモしておきます。

「マイコンピュータ」をダブルクリックします。ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブを確認し、ドライブ名をメモしておきます。

注意 あらかじめ、ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブを必ずご確認ください。ここでは、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定しています。

3 外観図と各部の機能



PC カード本体
コンピュータの PC カードスロットに挿入し、LAN アダプターの機能を提供します。

メディアケーブル接続コネクタ
「メディアケーブル」を接続します。

脱着ツメ
メディアケーブルの脱着を行うためのツメです。必ずこのツメを持ってメディアケーブルの脱着を行ってください。

グランドプレート
パソコンとの接触抵抗を下げ、高速なデータ転送を実現する接点です。グランドプレート部分は、手や金属で触れたり、汚したりしないようご注意ください。

メディアケーブル
PC カード本体と UTP ケーブルを接続するためのケーブルです。

LED
次の 2 つの LED があります。
10M Link/Act (緑): 10Mbps で対向機器と正常にリンクが確立されると点灯し、データの送受信時に点滅します。
100M Link/Act (緑): 100Mbps で対向機器と正常にリンクが確立されると点灯し、データの送受信時に点滅します。

RJ-45 モジュージャック
UTP ケーブル (シールドなしツイストペアケーブル) を接続するコネクタです。

MAC アドレスラベル
本製品の MAC アドレスが記入されています。

警告ラベル
本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

シリアル番号ラベル
本製品のシリアル番号 (製造番号) とリビジョンが記入されています。同じものが、3 枚同梱されており、パッケージ (外箱) にも貼付されています。同梱されているシリアル番号シールは、「製品保証書」に貼付してください (残る 2 枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

4 パソコンに取り付けてドライバーをインストールしよう

STEP 1 パソコンの電源を入れて、「コンピュータの管理者」が同等の権限を持つユーザ名でログオンします。

STEP 2 パソコンの電源を入れて、「Administrator」が同等の権限を持つユーザ名でログオンします。

STEP 3 メディアケーブルをカード本体に取り付けます。



STEP 3 本製品をパソコンの PC カードスロットに奥までしっかり挿し込みます。
警告 CardBus 非対応の PC カードスロットには、絶対に本製品を挿入しないでください。無理に挿入しようとすると、カードまたは PC カードスロットを破損させる恐れがありますので、ご注意ください。

裏面へつづく

安全のために 必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない 本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造をしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない 感電の原因となります。

雷のときはさわらない

異物は入れない 水は禁物 火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物厳禁

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のある場所には置かない 火災や感電の原因となります。

設置場所注意

注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

高温注意 本製品の使用直後は高温になっています。不用意に触ると、火傷の恐れがあります。

安全のために

運搬時の注意 本製品をコンピュータの PC カードスロットに装着したままにコンピュータを運搬するときは必ず付属のケーブルを外してください。ケーブルを外せ

ご使用にあたってのお願い 次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
- 湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所 (湿度 80% 以下の環境でご使用ください)
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、シュートンを敷いた場所 (静電気障害の原因になります)
- 腐食性ガスの発生する場所

お手入れについて 機器は、乾いた柔らかい布で拭く。汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤 (中性) をしみこませ、軽く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

静電気注意 本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

お手入れには次のものは使わないでください 石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん (化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)

取り付け・取り外しの際の注意 コンピュータの PC カードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ず本マニュアル及び、ご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。

長期保管時は袋に入れて 本製品を長期にわたって保管する場合は、必ず添付の袋 (静電防止) に入れてください。

取り扱いには注意 落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

清掃するときは電源を切った状態で 誤動作の原因となります。

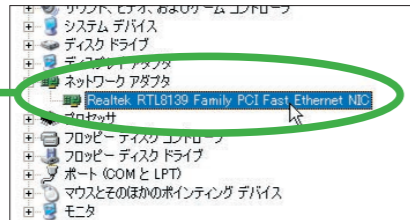
中性洗剤使用 ぬらすな 強く絞る

シンナー類不可

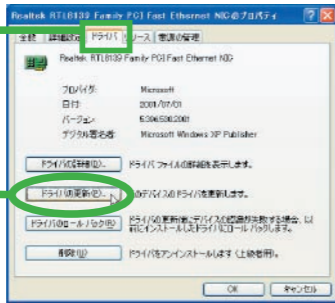
STEP 4 「スタート」 「マイコンピュータ」から「システム情報を表示する」をクリックし「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。

Windows 2000 「マイコンピュータ」を右クリックし「プロパティ」から「ハードウェア」タブを表示して「デバイスマネージャ」をクリックします。

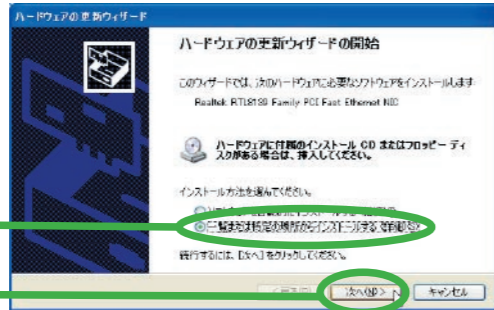
STEP 5 「ネットワークアダプタ」を展開し、「Realteck RTL8139」と表示されていたらダブルクリック



STEP 6 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」をクリック

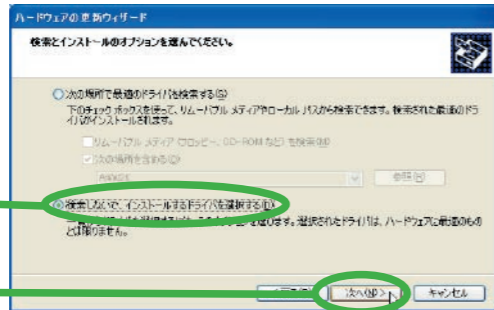


STEP 7 1. 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択して「次へ」をクリック



Windows 2000 1. 選択オプションがないのでそのまま「次へ」をクリック
2. 次のダイアログボックスで「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリック

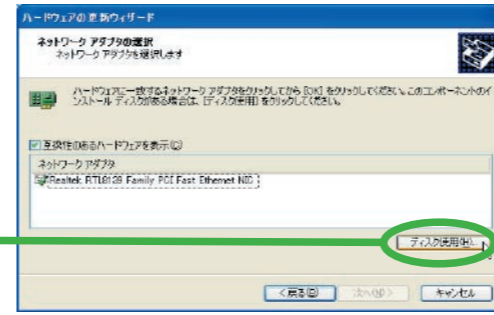
STEP 8 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択して「次へ」をクリック



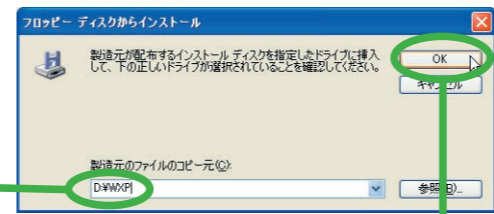
Windows 2000 ドライバファイルを検索する場所のオプションを特定します。
1. ダイアログボックスで「場所を指定」のみを選択し、「次へ」をクリック
2. 製品付属のドライバーディスク（CD-ROM）をパソコンのCD-ROMドライブに挿入

* この手順の後、STEP10 からの手順をご覧ください。

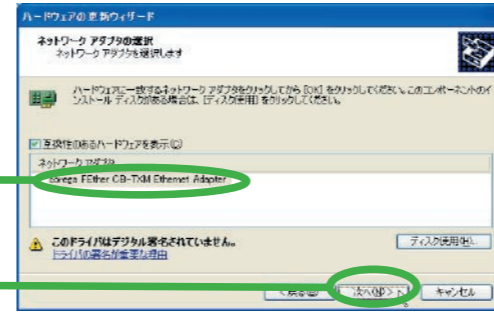
STEP 9 1. 「ディスク使用」をクリック
2. 製品付属のドライバーディスク（CD-ROM）をパソコンのCD-ROMドライブに挿入



STEP 10 1. 「D:¥WXP」と入力
Windows 2000 「D:¥W2K」と入力
注意 ここでは、CD-ROMドライブを「D:」と仮定しています。手順2「パソコンの確認をしよう」で確認したドライブ名に読みかえてください。
2. 「OK」をクリック



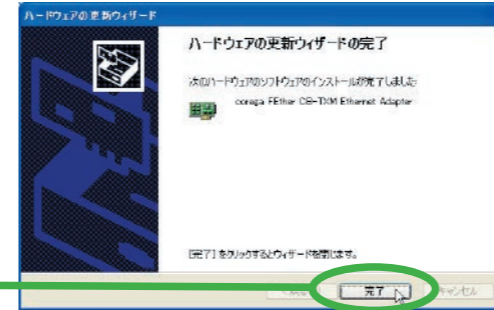
STEP 11 1. 「corega FEther CB-TXM Ethernet Adapter」と表示されているのを確認
2. 「次へ」をクリック



Windows 2000 1. 最適なドライバの検索結果で「d:¥w2k¥netcokk.inf」と表示されているのを確認
2. 「次へ」をクリック

STEP 11 の操作をすると、Windows XP/2000 両方ともハードウェアとの互換性やデジタル署名についての警告メッセージが出ることがありますが、弊社にて動作確認をとっておりますので、「はい」または「続行」をクリックし先にお進みください。

インストール完了!! 「完了」をクリック



これでドライバーのインストールは終了です。続いて「5. ドライバを確認しよう」へお進みください。

5 ドライバを確認しよう

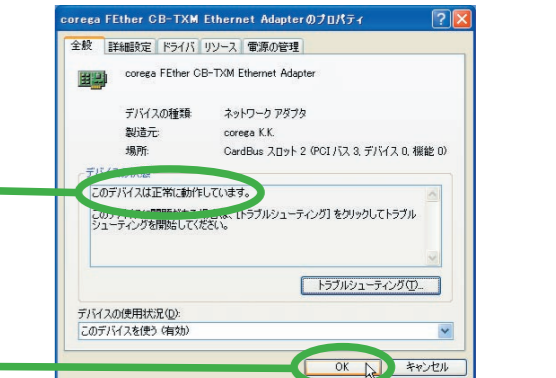
STEP 1 「スタート」 「マイコンピュータ」から「システム情報を表示する」をクリックし「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。

Windows 2000 「マイコンピュータ」を右クリックし「プロパティ」から「ハードウェア」タブを表示して「デバイスマネージャ」をクリックします。

STEP 2 1. 「ネットワークアダプタ」を展開
2. 「corega FEther CB-TXM Ethernet Adapter」と表示されていたら、ダブルクリック



STEP 3 「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていればインストールは正常に終了しています。「OK」をクリックして画面を閉じてください。



6 ドライバディスク（CD-ROM）を活用しよう

ドライバーディスクには、本製品のドライバー以外にも本製品を使用する際に役立つ情報がPDF形式のファイルとして格納されています。ドライバーディスク内の「index.html」をダブルクリックし、ブラウザに表示された各項目をクリックするとPDFファイルをご覧になることができます。PDFファイルが必要に応じて閲覧、印刷し、本製品のご使用時にお役立て下さい。

ヒント PDF形式のファイルを開くには、別途 Adobe Acrobat Reader をインストールする必要があります。Adobe Acrobat Reader をお持ちでない場合は、ドライバーディスク内のインストーラを利用し、インストールしてください。